

平成 28 年第 10 回庄原市教育委員会 会議録

- 1 日 時 平成 28 年 9 月 23 日（金） 午後 5 時 59 分開会
午後 7 時 55 分閉会
- 2 場 所 庄原市役所 本庁舎 5 階 第 2 委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 牧原 明人
教育委員 末信 丈夫、寺西 玉実、中山 智恵子、横山 和明
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 片山 祐子
教育部教育総務課長 山田 明彦
教育部教育指導課長 中重 秋登
教育部生涯学習課長 花田 譲二
教育部教育総務課総務係長 宗綱 秀臣
教育部教育指導課指導係長 東 直美
- 6 傍 聴 人 なし
- 7 議事日程 日程第 1 教育長報告
日程第 2 個別報告及び協議事項
その他

－ 開会 午後 5 時 59 分 －

教育長 ただ今から平成 28 年第 10 回庄原市教育委員会を開会します。会議日程に従い議事を進めます。

日程第 1 教育長報告

- 教育長 日程第 1、教育長報告を行います。
- ・ 秋季運動会・体育祭について
 - ・ 定例校長会議における学校長への指示事項について
 - ・ 広島県「基礎・基本」定着状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・ 9 月市議会定例会での一般質問と答弁について
 - ・ 庄原市教育フォーラムについて
 - ・ 比婆山熊野神社解説本「日本誕生の女神 伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山」発売について
- 続いて、教育部長からの報告をお願いします。
- 教育部長 ・ 庄原市学校適正配置検討委員会の報告について
- ・ 大相撲庄原場所の開催について
- 教育長 各課報告をお願いします。まず、教育総務課からお願いします。
- 教育総務課長 ・ 学校焼却炉解体撤去委託業務の実施について
- ・ 小中学校施設整備事業：庄原小学校改築事業（屋内運動場改築工事、グラウンド整備工事、旧校舎解体工事、備品整備等）について
 - ・ 廃校施設・備品等の有効活用について
 - ・ 学校給食調理場の再編について
 - ・ 教育委員会市内県立学校訪問について
- 教育長 教育指導課からお願いします。
- 教育指導課長 ・ 「学びの変革」パイロット校事業について
- ・ 生徒指導対策について
 - ・ 教職員の動向について
 - ・ 秋季運動会について
 - ・ 平成 28 年度庄原市小中学校研究公開について
- 教育長 生涯学習課からお願いします。
- 生涯学習課長 ・ 特色ある放課後子供教室の実施について
- ・ 第三次庄原市子供の読書活動推進計画の策定について
 - ・ 比婆山熊野神社解説本「日本誕生の女神 伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山」の完成及び出版記念リレー講演会の開催について
 - ・ 第 17 回ひろしまクロスカントリー大会について
 - ・ 全国大会出場者壮行式の開催について

日程第2 個別報告及び協議事項

教育長 本日の会議には上程の議案がありませんので、日程第2、個別報告及び協議事項に移ります。事務局より説明をお願いします。

教育総務課長 庄原市PTA連合会の要望書について報告します。今回全体的な要望として、クラブ活動や課外活動等での登下校時の通学支援の充実を図って欲しいというものと、各支部からの要望で共通するものとして、教室へのエアコン・クーラーの設置、通学路等の環境整備、プール修繕などが挙がっています。今回の要望の特徴は、要望書右側に回答欄を設けて教育委員会の回答を記載して欲しいとのことですが、教育委員会の対応は保留としています。

従前と同様に、教育長を含めた1時間程度の意見交換の場で要望書を受け取る形でしたが、文書による回答はしたことがありませんし、今後も文書での回答はしない方針ですが、各支部の要望が各教育室に提出された段階で、正式に市P連事務局へ回答というか、協議なり意向を示したいと考えています。

次に、9月市議会定例会の一般質問の概要についてです。一般質問の要旨と教育長等の最初の答弁が資料にありますので、ご一読ください。

3点目は例年秋季に実施している教育委員の行政視察についてです。今回の視察テーマと視察先の選定について担当係長から説明させます。

教育総務課総務係長 今回の視察テーマは2点あり、コミュニティースクール、学校運営協議会制度を取り入れた学校の取り組みの視察と、学校適正配置の取り組みを行っている先進地の視察を行います。視察先は光市教育委員会と光市立浅江中学校、そして美祢市教育委員会と美祢市立大嶺小学校を計画しています。現在、光市教育委員会に打診し返答待ちの状況で、光市教委の回答を待って美祢市教委へも打診する予定です。

山口県内の小中学校は、文部科学省が推進するコミュニティースクール制度をほぼ全校取り入れています。特に光市は近年全国の自治体や議会等が視察に行かれるなど、山口県内でも有数の先進地です。また浅江中学校のコミュニティースクール制度「あさなえJネット」は、「つながり日本一」をスローガンに学校支援活動を積極的に推進されており、学校の授業視察の他、学校支援活動の成果や今後の展望などのお話を伺えればと考えています。

美祢市は山口県内陸部に位置し、人口規模も約2万5,000人と本市に似ている他、平成26年12月に学校適正規模適正配置方針を策定されており、取り組みの経緯や現在の状況、課題などの意見交換を考えています。また、大嶺小学校は、昨年度の視察テーマだったアクティブ・ラーニングを用いた学力向上にも取り組まれており、課題解決や指導内容・方法についての視察もできると考えています。

なお、両市教育委員会と今後詳細を調整し来、月の教育委員会で再度説明させていただきたいと思います。説明は以上です。

教育長 まず市PTA連合会について、来訪された市P連役員と協議した際に「PTAとは何ですか」と述べました。本来、PTAは学校あるいは教育委員会としっかり連携して同じ方向に向かって相互協力し合う団体という認識ですし、それが本来の目

的ではないのですかと述べた上で、「要求団体になっていませんか。PTAの要求であれば何でもという姿勢は間違っていないか」と述べました。市PTA連合会の会長も同席されていましたが、最初はとても陰湿なムードになりました。

ちなみに、各支所の教育室でもPTA要望に対する回答を求められているとか、実際に文書による回答をした教育室もありましたので、これを契機に文書での回答はしないことを各教育室長へ話をしています。しかし、PTAが反対団体になっては困る訳で、相互協力してもっと皆で子供をどう育てるのか、学校教育目標に沿ってこんな取り組みをしましょうというのがPTAではという話をしました。

勿論、校長ヒアリングでも同様の話が出てきましたし、特に教室へのエアコン整備の話はよく出ます。全ての要望に対して「しない」「できない」という訳ではありませんが、それとこれとは全然別物だということです。

これまでの要望は、羅列式で20から30項目書いてあり、「保護者達の声です」という形で受け取り、「なるほど、こういう現状があるのか」と考えさせられるものもありました。当然、行政側も気付かないことがある訳です。親の視点から見た、重要度や緊急度の高い課題もあり、それらを参考にして次年度の予算要求に反映したりしていましたが、今回、教育委員会の回答を書き入れるためのCD-Rまで添付していたのは驚きました。

中山委員 私が中学校PTAの役員をしていた時には、PTAの会議で保護者からの要望を出し、校長先生や教頭先生等の管理職の方も同席されて、色々な要望の内容を検討して市教委に提出しますとのことでした。

教育長 要望は市へ提出したというところまでで終わっており、結果がどうなったのかPTAは知らないと思います。こういう形のものでなくて、PTAの意見は校長に伝えて校長が内容を吟味し、それを各校とのヒアリング時に提出する訳です。市の予算に通るか通らないかは財政状況によります。

例えば2年に亘り状況写真を資料に添付された事案もありましたが、これが参考資料になるなら良いかもしれませんが、そもそも意見交換をしながらこういう実態・課題があると言うのは「あり」だと思いますが、「これに予算を付けてください」「こういうことをしてください」という団体ではないと思います。

教育総務課長 要望と回答内容を箇条書きで列挙して出されたのは今回が初めてです。一般的には要望書について説明や意見交換の時間を持って提出するのですが、こういう形で提出されるのはもう10年位からになるかと思います。

教育長 予算のためにこういう声を後ろ盾にして、財政当局にわかってもらうためにしていたのかもしれませんが、それ自体は別に問題ないと思いますが、この要望書の全てに回答せよというのはいかがかと思います。

子供達の学習環境や学習内容を向上させたいのは切実なる保護者の願いなので、校長先生が保護者に丁寧に説明すべきだと思います。学校施設・設備や教育内容など校長との面談は随時行っており、教育委員会も学校への説明をしますが、PTAが校長を飛ばして行政に要望するのではなく、校長からの話としてならば聞きます。

しかし、子育てをどうするかとか、テーマを決めての意見交換は大いにしたいと思います。例えば家庭学習の時間が少ない児童生徒の増加という状況をどうすべきか、どうぞ来ていろいろ話をしましょうと、いつも言っています。子供を育てる観点からの意見交換は大いにすべきと思いますが、これはその逆です。

教育委員会行政視察の件で説明がありましたが、今回は山口県で一つはコミュニティースクール、山口県はほぼ全学校が導入していますが広島県の導入率は1割にも満たない状況で、庄原市も勿論導入する考えはありません。しかし一方で文部科学省が導入を進めようと中教審の意見を踏まえて、法制化してコミュニティースクールの導入を促す法律を作ろうとしました。結果的には「努力義務が望ましい」に留めていますが、全国でも10%前後しか導入していません。なぜ文科省がこの制度の導入を急がせるのか、文科省担当者の説明を聞いても考えることが沢山あります。なので推進県である山口に出向いて情報収集する必要があるということです。

もう一つは、現在取り組み中の学校適正配置問題について参考事案が近くにあり行程も組みやすいこと、アクティブ・ラーニングも進められていることから選定しています。ただ、当方が希望する日程と合うのかは先方と調整してからになります。

寺西委員

この行程なら高速バスや新幹線ではなく、車での移動ができると思いますが。

教育総務課長

公用車を使つての移動は隣県なので可能です。ですが10人乗りで足元が狭いとかで移動中は辛抱しないといけないと思います。その辺をご理解いただければ、車で移動する方法も可能ですので検討させていただきます。

横山委員

意外と山口県は遠いです。大阪に行くのとそんなに変わりません。東城から言えば距離的・時間的には変わらないです。

教育総務課長

視察に関する予算は確保しており、公共交通機関での移動は十分可能です。

教育長

他に意見等がないようでしたら、教育指導課より報告をお願いします。

教育指導課長

今年度の全国学力・学習状況調査の結果について報告します。今年4月19日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した結果です。特に課題と考えているのが中学校数学です。県平均との差、全国平均との差について、中学数学A問題では県や全国の平均点をほぼ5ポイント下回った状況で、B問題についても県や全国の平均を2・3ポイント下回っています。

小学校6年生国語と算数の領域等別の数値を出したもので、特に目立つのが算数B問題の図形です。県も全国も平均点は低いのですが、市はさらに下回っており、小学校算数は課題であると分析しています。

中学3年生の国語と数学の領域等別の数値を出したのですが、中学校数学は殆どが県平均を下回り非常に厳しい状態です。特にB問題の図形に至っては県や国の平均を大幅に下回る25.9ポイントと、この分野が非常に大きな課題であると言えます。各学校では分析を基に改善計画を立てて、具体的な取り組みに繋げていくことにしています。

次に、広島県が行った「基礎・基本」定着状況調査の結果です。今年度は6月7日に小学校5年生と中学校2年生対象に実施され、教科は小学校が国語・算数・理

科、中学校は国語・数学・理科・英語で、市の平均通過率は全体的に県の平均通過率を上回っています。中学校ですが英語は各校の取り組みの成果も出つつあり、県平均を大きく上回る8割近くの平均通過率でした。

各分野別の数値では、特に算数のタイプⅠ図形は県平均を大きく上回りました。この指導の流れを6年生にも繋げていきたいと思います。中学校2年生4教科の結果を分野別の数値を示したものでは、数学タイプⅠ図形と資料の活用が県平均を下回っており、今後の課題とすべき分野と思っています。

反面、英語タイプⅠ書くことは、各学校の取り組みの成果も出つつあり、県とは20ポイント以上も上回り、今の取り組みを継続していくことが大事と考えています。

続きまして、今年度の教育フォーラムについてです。10月29日13時開始ということで、ご都合がつけばぜひご来場ください。今回は読書活動をテーマに、高小学校の名文暗唱と各中学校1名のビブリオバトル（書評合戦）を行った後、神田康秋氏の講演をいただく予定で、先日実際にお伺いして打ち合わせを行っています。

末信委員

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生で、県の「基礎・基本」は小学5年生と中学2年生が対象となるので、今の小学6年生、中学3年生が小学5年、中学2年時とは状況が違うのですか。例えば今年度は県平均よりかなり頑張っていますが、今の小学6年生と中学3年生が小学5年生、中学2年生の時もこんな傾向が出ていたのですか。比較は難しいと思いますが、こういう傾向が続くのは指導の仕方とか、あるいは児童生徒に課題があるのですか。指導の仕方はかなり工夫しているが、児童生徒の力がついていないとも考えられるし、平均点数だけを比較してみてどうなのか気になるところです。

教育指導課長

「基礎・基本」ですが、やはり国語と算数は課題が多々あったと捉えています。特に中学の数学がここまで厳しいとは思っていませんでした。その反面、今の小学6年生と中学3年生の英語は去年も県平均を上回っていました。詳細な資料を今日は持ち合わせていませんが、東係長から補足説明があればお願いします。

教育指導課指導係長

算数や数学は「積み上げの教科」でもあり、中々一足飛びに課題解決とはいかないところはあります。ただ、少し取り組み方を変えたり、ある所に力を入れていけば改善が図られやすいのですが、タイプB問題等の応用系は指導の徹底がなければ段々と差が開くと言うか、力が付き難い部分はあるかと思います。ですので小学校中学校と一緒に研修を開催するなど、課題改善を図るのはとても重要だと思います。

教育長

他に意見がないようでしたら、生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長

現在策定中の第2期庄原市スポーツ推進計画の骨子案について説明します。「Ⅱ スポーツの意義と計画の背景」では、スポーツを取り巻く全体的な部分、特に平成23年度に国が定めたスポーツ振興法がスポーツ基本法に変わり、より生涯スポーツを推進する立場になったことで、市のスポーツを取り巻く現状や課題、計画の狙いなどを説明する項です。「Ⅲ 基本理念」は広島県スポーツ振興計画、庄原市長期総合計画、庄原市教育振興基本計画、そして第1期庄原市スポーツ振興計画を基本にして本計画を策定するという内容です。

基本施策の5つの柱としては、極力前計画の基幹部分を尊重し、「IV 市民ひとり1スポーツの実現を目指して」では、合併後の市の生涯スポーツを基本に具体的に推進を図りたい項目を挙げています。項目の内容は今後関連機関の諮問を受けながら策定したいと思います。策定スケジュールについて、今年中にある程度のものを提示した上で、教育委員からもご意見をいただきたいと考えています。

次に、比婆山熊野神社解説本が完成し、この度発刊することとなりました。「日本誕生の女神 伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山」というタイトルで、庄原市と南々社という出版社が共同で発刊するものです。発売日は10月3日で県内の主な書店で販売されますが、市役所でも先着300部の予定で販売します。

内容については、西城の熊野神社のことだけが書かれている訳ではありません。比婆山や熊野神社周辺の古事記伝説の解説もあり、とても興味があるかと思います。

9月26日には編集委員会から直接市長へ納品と報告を行います。書店での販売が税抜き1,800円で、市役所では先着300部を販売します。9月20日の行政回覧で案内をしていますので、お知りおきください。

また、この解説本の出版を記念したリレー講演会を10月10日、11月6日、12月11日の3回行います。第1弾は10月10日、午前中に熊野神社にあるいざなみ茶屋のリニューアルオープンの記念行事として、記念樹の植樹等が行われ、終了後3時半から5時までウイル西城のウィルホールで講演会を行います。

第2弾は比和で「庄原市北部は古代日本文化の先進地」と題し、講師に島根県の風土記を訪ねる会代表等をされている川島芙美子氏をお招きします。第3弾は庄原市民会館で、この本の執筆者4・5名によるフォーラム・パネルディスカッション形式での講演会を考えています。また行政回覧等で案内する予定です。

教育長

これらの件について、ご意見やご質問がありますか。

末信委員

スポーツ推進計画の骨子案を見させていただきましたが、これは庄原市独自に作られるものなのか、他の市町も同様の計画を策定されているのですか。

生涯学習課長

基本的に、国の示すスポーツ振興計画とそれに基づき広島県が策定したスポーツ振興計画を基に、各市町で独自の計画を作りなさいと国からの通知があります。各自治体ではそれらを参酌してスポーツ推進計画を作りますので、ある程度基本部分は共通していると思います。その上で、各市町独自の具体策を組み入れたり、現在不十分な部分を分析して計画に盛り込みます。大まかな部分は変わらないと思いますが、細かな部分では本市独自の色を出していきたいと考えています。

教育長

他にはありませんか。その他協議事項がありましたらお願いします。

教育総務課長

- ・ 平成28年度市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）について
- ・ 教育委員会議の日程の設定について

教育長

以上で、平成28年第10回庄原市教育委員会を閉会します。

－ 閉会 午後7時55分 －